



社団法人溶接学会第 78 回通常総会並びに平成 22 年度春季全国大会開催通知

第 78 回通常総会並びに平成 22 年度春季全国大会を下記の通り開催いたします。

【第 78 回通常総会】

日 時：平成 22 年 4 月 21 日（水）10:00～11:30

場 所：東京ビッグサイト

議 題：平成 21 年度事業報告, 平成 21 年度決算報告,
平成 22 年度事業計画案, 平成 22 年度収支予算案

【平成 22 年度春季全国大会】

期 日：平成 22 年 4 月 20 日（火）, 21 日（水）, 22 日（木）

場 所：東京ビッグサイト

東京都江東区有明 3-21-1

講演会プログラムはホームページに掲載いたします。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/index.html>

全国大会参加費：（全国大会参加受付は当日のみです）

会 員 2,000 円 非会員 4,000 円

学生（会員, 非会員とも）無料



平成 22 年度秋季全国大会

インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

— 申込みはインターネット (J-STAGE) による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

平成 15 年度秋季大会より、J-STAGE (科学技術振興機構) を利用して、インターネットによる講演申込受付及び PDF ファイル形式による原稿の提出受付をしています。申込については、本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。なお、申込及び原稿提出は、J-STAGE 利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領(和文、英文)、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が各 3 週間程度に限定されておりますのでご注意ください。

申込受付期間：5 月 6 日 12:00～5 月 27 日 14:00,

原稿提出期間：6 月 22 日 12:00～7 月 13 日 14:00

PDF 原稿を作成するに際しては、PDF をプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

なお、講演概要は J-STAGE にて公開されますので、公開を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

(注意事項)

- ① 上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと J-STAGE の利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会 HP にて確認してください。
- ② 原稿のファイル形式は、PDF 形式のみ受付ます。PDF のファイルサイズの上限は、3MB です。
PDF ファイル作成のためには、PDF ファイル作成専用ソフト Adobe Acrobat (4.0 以上のバージョン) をご利用下さい。無料配布ソフト Adobe Reader では PDF ファイル作成ができませんので、ご注意下さい。
- ③ PDF 原稿提出時に申込時のパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

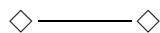
平成 22 年度秋季全国大会「研究発表」講演募集

— インターネット (J-STAGE) による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

概要集原稿の締切は皆さんのご要望により事務処理期間を大幅に短縮し、申込締切と分離して大会 2 か月前とすることにいたしました。

従いまして、申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。



平成 22 年度秋季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日：平成 22 年 9 月 7 日 (火)、8 日 (水)、9 日 (木)

開催場所：日本大学工学部 (郡山市)

— 講演申込募集 —

1. 申込期間：

平成 22 年 5 月 6 日 (木) 12:00～5 月 27 日 (木) 14:00

2. 講演資格：

講演者は正員であること。連名の場合、講演者は正員 (学生員も認める) でなければなりません。

3. 申込方法：

前記学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は 2 報までですのでご注意ください。

◎講演登録料：

1 件について 4,000 円をご納入ください。送金は現金書留郵便でお願いいたします。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

※大会参加費 (会員 2,000 円、非会員 4,000 円、学生無料) は大会当日別途申し受けますのでご注意ください。なお、講演概要集 (5,000 円) は別売となります。

※受付済通知：J-STAGE より受付番号が発行されますのでパスワードとともに保管しておいて下さい。

4. 原稿 (PDF) 提出期間：

平成 22 年 6 月 22 日 (火) 12:00～7 月 13 日 (火) 14:00

5. 講演概要原稿：

本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。

6. 発表時間：講演 10 分、討論 5 分

7. 講演申込の確認：

申込を受付けますとただちに E メールにて受付番号を送信いたします。

8. 講演申込の取り消しについて

講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

9. 付帯器具の申込み：

講演に必要な器具 (フィルム映写機、VTR 等) は遅くとも大会 1 か月前までにお申出ください。大会直前に申し出られましても準備できかねる場合があります。同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください。会場の都合で設営できない場合があります。(PC 用液晶プロジェクタは常備します。なお、操作は講演者側でお願いします。)

10. 講演登録料送付先：

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

溶接学会 全国大会係

電話 (03) 3253-0488

※受付番号を同封してください。

※PDF (原稿) 作成の場合は、事前に解像度を確認してください。



溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	内 容	備 考	分類記号 ・番号	内 容	備 考
I	溶接プロセス（含機器）		7 8 9 10 11	新材料接合部の諸特性	
	1 溶融溶接 (1)：アーク溶接，ガス溶接			セラミックス	
	2 溶融溶接 (2)：高エネルギービーム溶接			複合材料	
	溶接技術の新しい展開			機能材料	
	3 新溶接技術			高分子材料	
	4 新熱源開発，同応用			その他：新素材開発	
II	5 加工技術		IV	溶接・接合部の強度・破壊と設計	
	6 その他			1 溶接・接合部の応力	
	制御・システム工学，溶接・接合技術の 各産業分野への展開			2 溶接・接合部の静的強度	
	1 センサー，モニタ，計測技術			3 破壊靱性，き裂（発生，進展）	
	2 インプロセス制御技術，品質制御技術			4 疲労強度，疲労き裂	
	3 ロボット工学・技術			5 環境強度，クリープ	
	4 自動化，システム化技術			6 溶接・接合設計（強度計算など）	
	5 CAD, CAM, FA			7 信頼性，安全性評価	
	6 製品開発			8 劣化診断，寿命予測	
	7 生産，製造，施工，組立など			9 その他	
	8 その他：新技術，新システムなど		V	圧接，ろう接プロセス	
	品質保証，施工管理			1 圧接 (1)：抵抗溶接	
III	9 品質保証，工程設計など			2 圧接 (2)：摩擦，超音波，爆接	
	10 安全・衛生，教育，訓練			3 固相接合，拡散接合	
	11 非破壊検査，同機器			4 接着，ウエルドボンド	
	12 その他：生産設備など			5 ろう接：ろう付，はんだ付	
	金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性 （含鋼材，溶接材料など）			6 マイクロ接合	
	1 溶接・接合部，表面改質部の物理化学			7 機械的接合：リベット，ボルト継手など	
	2 溶接・接合部，表面改質部の組織及び機械的 性質			8 その他：新接合技術	
	3 耐食性，耐環境性			表面改質及び熱加工プロセス（含機器）	
	4 低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど			9 成膜 (1)：肉盛，溶射，めっき	
	5 気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥			10 成膜 (2)：PVD, CVD, イオンミキシング	
	6 その他			11 成形：焼結，HIP，鋳ぐるみなど	
				12 切断，ガウジング，穴あけ加工など	
				13 その他：焼き入れ，グレージング，封孔処 理，新加工技術など	

全国大会講演概要原稿執筆要領

— PDF 原稿のみとなります。 —

テンプレート及び書式が学会ホームページよりダウンロードできます。

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版（約 2/3）に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定（又は、指定フォーマット）のものに限ります。1 ページ目は、題目、勤務先（研究場所）、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙（A）を使用してください。

2. 原稿の長さ

題目（和英両文）、勤務先、著者名（和英両文）、キーワード（和英両文）本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚（A、B）にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚＝2,960 字（タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字）です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙（A）の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いないように記載して下さい）

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3～5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

ロ. 本文

原稿用紙（A）12 行目から（B）いっぱい原稿用紙の

コマに合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいにコマ数（40 字×37 行）だけ打ってください。（全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません）

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意願います。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺（約 2/3）を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意願います。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1、Table 1 などのように番号を付し、表題、説明（Caption）は英文で書いてください。（写真は Photo でなく Fig. としてください）

4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内に PDF（原稿）を J-STAGE に（学会ホームページより）アップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

プラズマ溶接の研究

日本工科大学 〇秋山 冬彦
世界電機 夏川 春樹

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→

本研究は，プラズマジェットを用いる溶接法について……

↑

1～2 字アケル



Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as "Preprint of the National Meeting of JWS."

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note "Manuscript for the National Meeting" on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda

10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi

10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint

10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure with respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major factor

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition. Toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

全国大会講演申込手順

〔講演申込手順〕

1. 申し込みは、学会ホームページのお知らせにある大会講演申込の案内にある「講演申込」をクリックして下さい。講演申し込み画面が表示されます。
2. 申し込み画面では、「新規登録及」と「登録内容確認」が表示されています。最初は「新規登録」をクリックしてください。
入力の前に、新規登録及び登録内容確認についての説明が記載されておりますので必ずお読みいただき、操作上の注意事項を確認の上入力を開始してください。
登録後に登録内容確認などを行うには受付番号と登録時に入力したパスワードがないと作業が行えませんので必ず保管下さい。当学会事務局では受付番号の確認はできますが、パスワードはわかりませんので、お問い合わせされる場合はご注意下さい。
3. 「登録票／件数入力」の画面では、まず、表記されている注意事項を先にお読みいただいてから入力を行って下さい。【必】のところは入力されないと次の画面へ進めません。入力する枠には半角の数字を入力下さい。入力が済みましたら「次へ」をクリックして下さい。
演者数とその合計所属数及びキーワードを最初に入力します。この数字は次画面からの入力欄をいくつ表示するかを指定するものです。
4. 「登録票／所属機関」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の所属機関数が表記されます。この部分も【必】扱いですので、全項目省略しないで入力下さい。
所属は、研究者すべての所属を入力します。公開時に日・英両方表示することができますので、希望される方は日本語、英語両方入力してください。
5. 「登録票／研究者情報」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の研究者数が表記されます。
 - (1) 会員情報の「会員区分」ではプルダウンメニューから選択します。右にある下向き矢印をクリックして選択を行って下さい。
 - (2) 「所属」は「登録票／所属機関」で入力したものが表示されます。
選択されたものが誤っている場合は、「戻る」をクリックし、入力をしなおして下さい。
6. 「登録票／連絡者情報」の画面では、連絡者に関する情報を入力します。
氏名、所属は、前の画面で入力した情報が自動表示されます。前の画面で「その他」を選択した場合は、自動表示されませんので氏名、所属から入力して下さい。電子メールアドレスは、登録終了後、受付完了のメールが送られてきますので、必ず入力していただきます。メールアドレスは、J-STAGE から受付番号などをお知らせしますので間違えないように入力して下さい。
全項目入力できましたら「次へ」をクリックして下さい。

7. 「登録票／演題情報」の画面では、演題情報を入力します。

「演題分類」をプルダウンメニューから選択して下さい。「発表形式」もプルダウンメニューから選択して下さい。「演題名」は講演原稿と同じものを入力して下さい。
パスワードは「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。全て入力が完了しましたら、「確認」をクリックして下さい。不安がある箇所があれば「戻る」をクリックして前画面にもどって確認下さい。

＊ 演題名、要旨については Web 画面で表示するための<タグ>が使用できます。<タグ>は、<I>、<SUP>、<SUB>、
を使用することができます。

8. 「確認」をクリックすると、「登録票／登録票入力確認」の画面が表示されます。登録内容に誤りがないことを確認して「登録」ボタンを押して下さい。これですべての入力作業は終了です。
9. 正常に登録されました「登録票／登録完了」の画面が表示されます。この画面では受付番号が表示されます。受付番号はパスワードとともに、「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。

＜補足説明＞

- ・ 投稿情報は、公開される情報になることから、入力内容の確認画面では投稿者は十分な確認をしたのち「登録」をクリックしてください。
- ・ 登録が正常に行われましたら、J-STAGE から受付完了のメッセージが表示されます。6桁の受付番号も表示されますので、忘れないように控えておいてください。
注：変更処理等では、受付番号とパスワードを入力することになりますが、このときの受付番号は、先頭が0であっても6桁固定として入力してください。
- ・ <タグ>を使用した場合の公開データの確認は、「登録内容確認」で表示イメージの確認により確認してください。
- ・ 登録締め切り後の変更はできませんので、締め切りまでに登録時の確認画面もしくは「登録内容確認」により必ず確認をしてください。
- ・ 登録締め切り直前（最終回）は、申込が殺到し入力しにくくなります。お早めに申込ください。

《画面構成》

1. 新規登録受付／工程選択（トップページ）
2. 登録票／言語選択
3. 登録票／件数入力
4. 登録票／所属機関
5. 登録票／研究者情報
6. 登録票／連絡者情報
7. 登録票／演題情報
8. 登録票／登録票入力確認
9. 登録票／登録完了



全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF 化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。（**校正刷りの郵送はいたしません。**）万一事故等により E メールが未着の場合にも、7 月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー。バージョン 4.0 以上（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produkts/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX（03-3253-3059）にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp



全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

今秋季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。



平成 22 年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：「粒子積層による厚膜創成プロセスの最前線」

座 長：福本昌宏（豊橋技術科学大学）

日 時：平成 22 年 9 月 8 日（水）13:00～17:00

場 所：日本大学工学部（郡山市）

開催趣旨：（600 字程度）

各種熱プラズマや燃焼フレーム等により加熱・加速された数十ミクロン μ mサイズの粉末粒子の堆積により、基材上にmmオーダーに至る厚膜を創成する溶射法が、種々の産業分野における基盤技術として重要な役割を果たしつつある。ただし、同法の制御性・信頼性は未だ十分に確立されたとはいえず、プロセスの一層の適用拡大に向け、信頼性保証・制御性確立が求められている。まずは、個々の粒子偏平挙動解析に基づき、溶射プロセス制御のあり方について紹介する。また類似のプロセスであるMSコーティング法についても現状と課題を解説する。一方近年、当該分野における新たな潮流として、超高速性の付与により、溶融させることなく粒子を堆積させるコールドスプレー法およびエアロゾルデポジション法などの新規プロセスの台頭が著しい。ただし、これら新規プロセスの実プロセスとしての展開は未だ未知の領域である。そこで、これら非溶融固体粒子の積層による成膜プロセスの現状、課題、将来への展望を述べる。さらに昨今では、超微粒子の積層による膜組織の微細設計、制御化が志向され

ており、その代表であるサスペンション溶射法についても紹介する。本フォーラムでは、これら厚膜創製プロセスに対する理解を深め、また実プロセスとして今後の導入を模索する上での一助として、これら新旧プロセスの基礎、現状、課題ならびに将来への展望を纏める。

予定討議項目：

1. 粒子偏平挙動解析に基づく溶射プロセス制御指針
2. 固相粒子成膜ウォームスプレー法の現状と課題
3. 固相粒子成膜コールドスプレー法の現状と課題
4. 流体解析に基づく高速ガス流援用成膜プロセスの適正化
5. 固相微粒子成膜エアロゾルデポジション法の現状と課題
6. 超微粒子成膜サスペンション溶射法の現状と課題
7. 超耐摩耗肉盛りMSコーティング法の現状と課題
8. 総合討論 当該技術分野の現状、課題と将来への展望

申込方法：

著者名、概要（200 字程度）、所属、連絡先を明記し、FAX（03-3253-3059）にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：平成 22 年 4 月 1 日

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：平成 22 年 7 月 13 日



国際溶接学会 (IIW) 2010 年次大会 (第 63 回) のご案内

本年度 IIW 年次大会が下記のとおり開催されますのでご案内いたします。

日本からの参加者は、IIW 加盟団体である日本溶接会議 (JIW) の参加承認を受けてください。JIW は溶接学会並びに日本溶接協会にて構成されており、両学協会の会員は大会及び関連行事に参加できます。

IIW への参加登録申込みは、直接 <http://www.iiw2010.com/> にアクセスし、資料を入手の上、ご登録下さい。(第一次登録締切は 4 月 30 日です。)

IIW への参加登録と同時に、参加申込用紙 (英文) の写し (1 部) と日本語の JIW 宛申込用紙を、JIW 事務局宛お送りください。(JIW 宛申込用紙は、溶接学会ホームページから入手できます。)

なお、IIW 参加費とは別に下記の「JIW 参加費」が必要です。

(ただし、IIW 役員・委員長, Delegate, 学生は免除されます。)

JIW 参加費: 中立機関 ¥10,000, 企業 ¥30,000

会 場: イスタンブール (トルコ)

(Swissôtel The Bosphorus)

会 期: 2010 年 7 月 11 日 (日) ~17 日 (土)

公開研究集会(International Conference)

主題「Advances in Welding Science &

Technology for Construction」(15 日及び 16 日)

JIW 事務局: (社) 溶接学会内 担当 石丸

E-mail: ishimaru@tg.rim.or.jp

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

TEL: 03-3253-0488

FAX: 03-3253-3059



WEB掲載の溶接学会論文集27巻(平成21年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される方は、下記により、平成22年3月31日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 27 巻（平成 21 年度）

【価 格】 15,000 円／年 1 冊（税込・送料別）

【申込先】 「お名前（会社名）」「送付先住所」「冊数」
をご明記の上、FAX にてお申込み下さい。

日本印刷出版株式会社 TEL：06-6441-0075

FAX：06-6443-5815

特別研究会「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」の活動成果について

溶接学会特別研究会「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」(田中 学主査:大阪大学)は、最新のデジタル観察・計測技術や数値計算シミュレーション技術を駆使して、溶接・接合プロセスのビジュアル化を推進してきました。この度、委員の皆様の甚大なるご協力により、その成果を一枚のコンパクトディスクにまとめることができました。「溶接プロセスおよび溶接機器」、「金属材料の溶接性ならびに溶接部の特性」、「溶接構造の力学と設計」に分類された最新映像がわかりやすい解説文を添えて収録されています。研究や技術開発のための参考資料、あるいは、最新の溶接プロセスおよび複雑干渉系における溶接現象の理解を深める教育資料としてご活用ください。

収録内容 (タイトルは省略されています)

- 2 電極 TIG アークの挙動
- REM 添加ワイヤ
- 高周波パルス炭酸ガスアーク溶接現象
- レーザ溶接時のポロシティ発生過程
- レーザ溶接における凝固割れの発生
- レーザ溶接における溶接欠陥の防止
- レーザ誘起プラズマの温度計測
- 同軸複層ワイヤを用いた MIG 溶接
- デジタルフィルタを採用した溶接法
- プラズマアーク切断
- 高速ホットワイヤ TIG 溶接
- レーザ溶接時の凝固割れ発生
- GHATA 溶接法
- スイッチバック溶接
- ATIG 溶接挙動の高速映像
- 純タングステン電極のアーク発生挙動
- スポット溶接のシミュレーション
- アルミニウム合金の摩擦点接合
- 異材摩擦点接合
- ハイブリット摩擦攪拌接合
- 6063Al 合金-T5 材の摩擦攪拌接合
- 6016Al 合金の高速摩擦攪拌
- ステンレス鋼の摩擦攪拌接合
- DP590 鋼の摩擦攪拌接合
- レールのガス圧接作業

- 非対象交流・直流磁場によるホットティグ溶接
- 高速安定キーホール・低速ポロシティ
- アンダーフィル形成過程観察
- 陽極降下領域の非平衡現象
- 非消耗電極で見られる現象
- 溶融池形成現象 (含:イオウ含有量)
- パルスティグ溶接
- 交流プラズマアーク溶接
- トーチ周りのアーク現象
- 溶極式アークの溶滴移行形態
- 溶滴移行のシミュレーション
- パルスティグアークシミュレーション
- 3D 溶融池対流のシミュレーション
- アークプラズマの磁気制御
- グラビティ溶接について
- 多パス溶接時の溶接金属中相変態挙動
- 炭素鋼アーク溶接部の結晶粒成長挙動
- Fe-Cr-Mo 合金のスピンノーダル分解挙動
- レーザろう付シミュレーション
- HT950 の OIM 解析
- 共焦点走査型レーザ顕微鏡による“その場観察”
- 放射光を用いた相変態挙動観察
- モンテカルロ法による γ - α 変態シミュレーション
- 薄肉パイプ構造の溶接変形解析例
- シャルピー衝撃試験の動的変形挙動シミュレーション

価格: 30,000 円 (送料, 税込み)

申込先:

申込時に「お名前」「ディスク送付先住所及び電話番号」「請求書宛名」「注文数」「ご連絡先」をご明記の上、Eメールにてお申込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

特別研究会「ビジュアル化最前線」 宛

Eメール: hidemori@jwri.osaka-u.ac.jp

お問い合わせ: 06-6879-4377

大阪大学接合科学研究所 講師 寺崎秀紀



京都大学エネルギー理工学研究所教員公募

1. **職種及び人員（任期など）**
教授 1 名（任期 10 年，再任可）
2. **所属**
エネルギー機能変換研究部門
3. **研究内容**
エネルギーの高効率機能変換や新機能創出を目的とするエネルギー材料の物理・工学研究，ナノレベルでの組織制御による先進材料の開発研究など。
4. **着任時期**
採用決定後できるだけ早い時期
5. **応募資格**
関連研究分野での博士の学位を有する者
6. **選考方法**
提出書類に基づいて選考し，必要に応じて面接を行うことがある。
7. **提出書類**
 - (1) 履歴書（市販履歴書の様式に準じ，可能な着任時期も明記すること）
 - (2) 業績リスト（原著論文，著書，解説論文，国際会議プロシーディング，特許，その他に分類したもの，および主要論文別刷り 10 編以内を添付のこと。また，競争的資金の実績，及び学協会等の社会活動についても記すこと）
 - (3) 研究業績の概要（全体で 2,000 字程度，主要研究テーマ別に記載のこと）
 - (4) 着任後の研究計画（2,000 字程度）
 - (5) 推薦書（自薦の場合，所見を聞ける方 2 名を記載）上記書類は，原則として A4 判横書きとし，履歴書を除き任意様式とする。書類はそれぞれ別葉とし，すべての書類の右肩上に応募者氏名を記入のこと。なお，提出された書類は返却しない。
8. **公募締切**
平成 22 年 4 月 30 日（金）（必着）
9. **書類提出先・問合せ先**
封筒の表に「教員応募書類在中」の旨を朱書き，書留郵便や宅配便など，受領の確認ができる方法で送付すること。
〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学エネルギー理工学研究所長 尾形幸生
TEL: 0774-38-3500；e-mail: y-ogata@iae.kyoto-u.ac.jp
10. **その他**
 - ・京都大学は男女共同参画を推進しています。
 - ・エネルギー理工学研究所の詳細については Home Page (<http://www.iae.kyoto-u.ac.jp>) を参照して下さい。なお，採用者はエネルギー科学研究科エネルギー応用科学専攻の大学院教育（高品位エネルギー応用講座エネルギー材料物理分野）を担当する予定です。詳しくはエネルギー科学研究科の Home Page (<http://www.energy.kyoto-u.ac.jp>) を参照して下さい。